

『福岡空港環境計画』と数値目標の達成状況

■環境マネジメント

「福岡空港エコエアポート協議会」では『福岡空港環境計画』（主な項目は次頁ご参照）の数値目標を軸としたPDCAマネジメントサイクルを導入しております。

FY2025における目標達成度は以下のとおりとなっており、今後も、弊社を中心に空港内事業者、その他関係者と連携して目標達成に向けて取り組んでまいります。

分野	目標	達成状況（FY2025実績）
大気	旅客1人あたりのCO2排出量を着実に削減する。 (FY2016比)	全体82.4%・旅客当り106.8%
エネルギー (原油換算)	Iエネルギー消費量を着実に削減する。 (FY2016比)	112.6%
水	旅客1人あたりの上水使用料を削減する。 (FY2016比)	全体57.3%・旅客当り73.9%
廃棄物	空港全体の廃棄物発生量のリサイクル率を40% まで向上させる。	実績24.6%
(施策目標)	GPU使用率60%	実績38.6%
	エコカー導入率20%	実績18.5%
	電力使用量5%削減(FY2016比)	23.0%増加

『福岡空港環境計画（抜粋）』（2018年3月改定）

大気	旅客1人あたりのCO2排出量を着実に削減する。	GPU使用促進【目標】使用率60%
		車輛のEカー化（低公害・低燃料・低排出ガス車）【目標】Eカー導入率20%
		アイドリングストップ運動の組織的推進
		各施設の照明や冷暖房設備の省エネ化の推進【目標】電力使用量FY2016比5%削減
エネルギー	エネルギー消費量を着実に削減する。	GPU使用促進【目標】使用率60%
		車輛のEカー化（低公害・低燃料・低排出ガス車）【目標】Eカー導入率20%
		アイドリングストップ運動の組織的推進
		高効率照明器具、照明設備のスイッチング、人感センサー等の導入促進
		使用しない部屋の照明の消灯
		高効率空調機器の採用、高効率運転の促進
騒音・振動	低騒音型車両及びGPU使用促進等により着実に騒音・振動を低減する。	太陽光発電の導入促進
		各施設の照明や冷暖房設備の省エネ化の推進【目標】電力使用量FY2016比5%削減
		GPU使用促進【目標】使用率60%
		GSE車両等の低騒音型車両への転換
水	旅客1人あたりの上水使用料を削減する。(FY2016比)	アイドリングストップ運動の組織的推進
		各事業所の上水使用料の把握
		雨水や井水の利用
		節水器具の採用
土壌	可能な限り土壌への影響を小さくする。	節水キャンペーン
		尿素系融雪剤を酢酸系融雪剤へ転換
		エチレングリコール防除氷剤からプロピレングリコール防除氷剤へ転換
		効率的な散布方法による散布量の低減
廃棄物	空港全体の廃棄物発生量のリサイクル率を40%まで向上させる。	新聞紙・雑誌の処分はリサイクル事業者へ委託
		一般廃棄物は排出事業者ごとの発生量の把握
		ごみの減量化キャンペーンの実施
		産業廃棄物の発生量、処分及び再利用方法の把握、3Rを軸に削減